

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	0	0	1	基準をクリアして運営している。スペースについてはその日の活動に合わせて検討・反省をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	10	1	0	1	基準人員+2~3名のスタッフが勤務している。 利用者の人数、子ども達の様子によって配置を考えている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	1	3	玄関に段差がある。その他はフラットになっているが、手すりなどはついていない。 畑側はスロープになっており、車いす対応も可能。避難時も自転車駐輪スペースを通過して避難できる。(二方向避難が可能)
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10	0	0	2	改善点を共有・周知している。ミーティングを行なっている。 非常勤の職員も多く、全員参加のミーティングは現状難しい。 業務改善のためノート等での伝達も検討している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	1	0	1	行なっている。 新しい活動（訪問美容室や作品展への出展）の導入の際に、アンケートを取るようになっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	1	3	令和4年度に公開済み。 令和5年時も公開予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	0	6	4	現状実施はしていないが、第三者委員会を今後検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0	0	0	内部・外部共に研修受講をしている。 個々に受けたい分野の研修を受講可としている。 なるべく多くの職員が研修に参加し、内容も共有している。 今年度研修教材の導入を行なった。 保護者様との合同の研修会機会も設けることができた。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	0	行なっている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	1	2	利用者の状況を把握分析し、どのようなサービスが必要なのか明確にすることを目的に、同一の様式を用いて実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	1	1	常勤が基準となって行なっている。シフトの兼ね合いで全員で立案会議を行うことは現状難しい。 2年目に入り組織が安定してきたため、新たに立案意見を出す機会を設けることを検討している。 またアイデアは適宜話し合っている。 子ども達からの意見をプログラム化することが多い。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12	0	0	0	工夫している。 季節を感じられるようなプログラムを取り入れる中で、昨年とまったく一緒等にならないよう立案している。 好評なプログラムは不定期で実施したり、授業（技術や家庭科）などの先回りの経験を積めるよう工夫していきたい。 （ミシンや裁縫、トンカチなど）
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	11	0	0	1	都度困っている様子がある場合は共有し支援方法を見直す等して、個々に合わせて対応できるように考えている。 その時々に合わせて必要な支援を心掛けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	0	行なっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10	1	0	0	児童来所前に必ずミーティングを実施している。 回答なし（1）
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	3	2	0	必ずはできていない部分もあるため、今後行なっていきたい。 月一回のミーティングやメールで共有を行なっている。 振り返りはその日の職員で行ない、必要であれば全スタッフに共有されている。 業務改善を目的に、日誌を各スタッフが適宜記入・確認できるようにしていくことを検討している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	0	0	モニタリング報告にて行なっている。 今後その日の様子を紙ベースで共有し、不定期出勤の非常勤職員も支援状況を共有・確認しやすい環境を整えていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10	0	0	2	都度利用者の様子に合わせて見直しを行なっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	9	1	0	2	スタッフ間にガイドラインの周知を実施していく。
	関係機関や保護者との連携関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	0	3
㉑		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	11	0	0	1	保護者様のご協力のもと行なっている。
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	0	12	0	医療的ケアが必要な児童の受け入れ可能な事業所ではない。
㉓		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	2	0	3	記録がいただける場合には保護者様を通して連携することがある。 情報提供ができるよう準備はしているが、常に相互に共有しているという形ではない。
㉔		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	12	0	該当児童がいないため未実施。
㉕		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	6	常勤スタッフが中心となり、他機関と連絡を取り連携することがある。
㉖		放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	1	2	0	地域主催のお祭りや運動教室に参加することで交流の機会を設けている。 公園で遊んでいる際、地域のお子様と一緒に遊ぶなど関わりがある。

保護者との連携	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	0	5	7	参加していない。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	0	0	ご協力を得ながら行なっている。 送迎時など、保護者様と話す機会にお子さんの様子をお互いに共有している。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	9	0	1	2	今年度は勉強会を通して行なっていたが、今後必要に応じてkidsベースの保護者様のニーズに応じていきたい。 保護者様向けの勉強会を行ない、講師の先生の話の聞いたり、その後の交流会で意見交換をしている。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	0	0	0	ご契約時に行なっている。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	0	0	0	適切且つ迅速に行えるように努力している。 相談内容や今後取り組んでいく支援方法をスタッフ間でも共有している。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	11	0	0	1	今年度は勉強会を通して行なっていたが、今後必要に応じてkidsベースの保護者様のニーズにも応じていきたい。 勉強会を開いたり、保護者様参加の課外活動を行なったり、交流の機会を設けている。その際には、保護者様同士の交流がある。 今後は保護者様との交流の際にスタッフの参加も促していきたい。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	0	0	0	対応できるように研修を行なったり、相談支援事業所と情報共有するなどしている。 苦情・相談についての研修を定期的に行なっている。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1	0	0	月に1度プログラムを配信する際に、ブログの内容や様子などを配信ができるように工夫している。 活動内容や作り方を手紙で保護者様に共有し、自宅でも体験したり継続したりできるようにしている。 メールやブログ等での発信を行なっている。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	12	0	0	0	スタッフ全体で気を付けている。手紙の取り間違い等は注意が必要と感じる。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0	0	メール・お便りなどは送信前にチェックを行なっている。 個別の配慮を考え、職員間で共有している。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	0	0	4	地域の方がお子様のご相談に来所することがあり、受け入れるようにしている。 見学希望の方は入っていただくように工夫している。
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	1	0	1	研修を定期的に行なっている。 今後広く周知を行なう必要性を感じている。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	0	0	0	年2回行なっている。 避難訓練は都度内容を考え、様々な要因を想定して行なっている。

非常時等の対応	⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0	0	年2回の研修を開催、委員会の設置をしている。 研修を定期的に行ない、職員同士適切に対応できるようにしている。
	⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	11	0	0	1	個別支援計画に明記している。 研修を行なっている。 身体拘束以外の方法で支援ができるように努めている。(事前の声掛けや人員配置)
	⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	0	3	保護者様と連携していただいている。 キッチンに貼り出し、スタッフ全員が確認できるようにしている。 基本的にアレルギー物質の含まれるおやつは提供しないようにしている。 動物関係のプログラムの際は当該アレルギーを持つ児童が参加する場合は職員がマンツーマンで付いて配慮するようにしている。
	⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	0	0	共有し、再発防止に努め、年に一度研修の材料として再検討している。 職員全体が必ず目を通し、共有している。